

有線によることができないシチュエーションの整理（案）

1. SIG-Ⅱの検討対象

(1) 利用シーン4の定義

有線によるブロードバンドの提供が困難な家、職場、施設等において、有線と同等に近い条件でブロードバンドサービスを楽しむ

(2) 想定される提供サービス形態

DSLや光ファイバ等有線通信網によるブロードバンドの提供が困難な地域等において、有線通信網を補完するもの。主として、固定施設等間の通信を実現するもの。山間部や離島等のデジタルディバイド地域における安価な基幹通信網や都市部におけるラストワンマイルとして利用。

2. 「有線によるブロードバンドの提供が困難な」の例

(1) 需要規模の不足

需要が低密度に分布するために、サービスの採算性が低い。

(2) 相対的に高い整備コスト

需要規模は十分であるが、収容設備等の不足又は収容局からの距離等から、サービス開始に向けて多額の初期投資を要する。

3. 有線によるブロードバンドの提供が困難なシチュエーションの整理

(1) 不採算地域内 (山間部、離島部、その他の少数世帯部等)

① 主要都市から相当の距離がある小規模市町村に通じる基幹通信網

② 面積が相対的に大きく、世帯密度が低い市町村のアクセス網

(2) 採算地域内 (大都市、一般市街地等)

① 収容局からの距離等の理由により提供されない地域、集合住宅等に通じるアクセス網

② 既設の有線よりもより安価に提供可能なアクセス網／専用回線)

参考. 「有線と同等に近い条件で」の例

(1) 光ファイバ 100 Mbps ~ 1 Gbps

(2) ADSL

下り 1.5 Mbps ~ 50 Mbps

上り 数百 kbps ~ 5 Mbps

(3) ケーブルインターネット

下り 数百 kbps ~ 100 Mbps

上り 数百 kbps ~ 数 Mbps